

循 社 第 106号

平成31年4月26日

各 位

千葉県環境生活部循環型社会推進課長

(公印省略)

環境省「プラスチック・スマート」キャンペーンと映画『きみと、
波にのれたら』コラボポスターの掲出について（依頼）

本県の環境行政の推進につきまして、日頃格別の御高配を頂き厚くお礼申し上げます。

このことについて、平成31年4月18日付けで、環境省が進める「プラスチック・スマート」キャンペーンの普及啓発の一環として、同省が作成した東宝アニメ映画『きみと、波にのれたら』とのコラボポスターの送付がありました。

千葉県としても、「プラスチック・スマート」キャンペーンの趣旨に賛同しており、映画『きみと、波にのれたら』では、千葉県内（千葉ポートタワーや九十九里の海岸等）をモデルにしたシーンが随所に登場することから、一層のPR効果を図るため、ポスターの掲出について、御配慮くださいますようお願いいたします。

担当

千葉県環境生活部循環型社会推進課

環境保全活動推進班 植 田

TEL:043-223-2760 FAX:043-221-3970

E-mail: e-haiki@mz.pref.chiba.lg.jp



平成 31 年 4 月 18 日

環境省「プラスチック・スマート」キャンペーンと
映画『きみと、波にのれたら』
コラボポスターについて

この度は、環境省の「プラスチック・スマート」キャンペーンと『きみと、波にのれたら』のコラボポスターの掲載にご協力いただき、誠にありがとうございます。

「プラスチック・スマート」キャンペーンは、世界的に喫緊の課題となっている海洋プラスチックごみ問題の解決を目的として、“プラスチックとの賢い付き合い方”(不必要な使い捨てプラスチックの排出抑制・分別回収の徹底、プラスチック素材の再利用など)を全国的に推進し、それらの取組を国内外に発信する取組です。

この普及啓発の一環として、この度東宝株式会社と連携し、6月21日(金)公開の映画『きみと、波にのれたら』(湯浅政明監督)とのコラボポスターを作成いたしました。本作は海を舞台にした物語でありつつ、若年層に人気の高いキャストの起用・国際的に評価されている監督の最新作という普及ポテンシャルを持っています。

こちらを若年層へのプラスチック・スマート普及の契機の一つとし、より多くの方にプラスチックとの賢い付き合い方を広め、海洋プラスチックごみ問題解決につなげていきたいと考えております。貴関係施設におかれましては、是非多くの人の目に触れる場所で同封のタイアップポスターをご掲載いただけますよう、お願い申し上げます。

なお、本取組のプレスリリースについては、4月23日(火)午後に実施を予定しております。タイトスケジュールで大変恐縮ですが、10連休前に本ポスターのご掲載をお願いできますと幸いです。

今後とも、資源循環行政へのご協力を何卒よろしくお願いいたします。

お問い合わせ先： 環境省環境再生・資源循環局 総務課
電話：03-5521-9268 (内線 7864)
担当：堀江 彩生





Plastics
Smart

参考

「プラスチック・スマート」キャンペーンについて

【キャンペーンの趣旨】

- プラスチックによる海洋汚染が深刻な問題に
- 我が国が国内でこれまで実施してきた様々な取組と率先実行を国内外にアピールし、国内外の更なる取組を促したい

平成31年4月

環境省



Plastics
Smart

1. プラスチックごみによる海洋汚染の状況

- 2050年には魚の量を上回るとの試算も
- 観光、漁業にも影響が

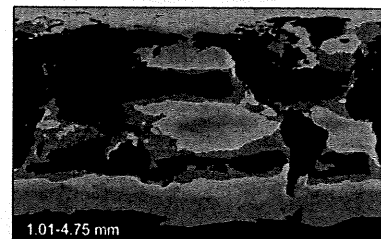
□ 世界規模での汚染拡大



出典: UN World Oceans Day
ウミガメに巻き付いたプラスチック



出典: タイ天然資源環境省
クジラの胃から出てきたポリ袋



1.01-4.75 mm
マイクロプラスチックの分布(モデル予測)

□ 海岸に大量に漂着する海洋ごみ



日本



米国



島嶼国

□ ワンウェイ容器

- ・日本は1人あたりのプラスチック容器包装の廃棄量世界2位(約35,000g/年)

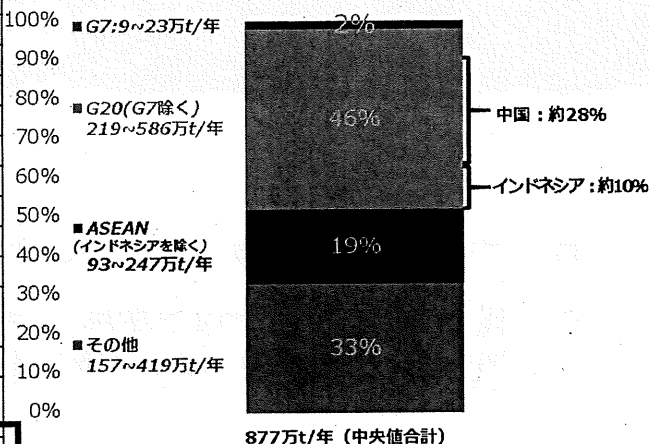
2. 世界の流出の実態

- 年間約500万～1300万トン流出との推計
- 中国及び東南アジアからの流出が多い

<国別流出量（2010年推計値）>

1位	中国	132～353万トン/年
2位	インドネシア	48～129万トン/年
3位	フィリピン	28～75万トン/年
4位	ベトナム	28～73万トン/年
5位	スリランカ	24～64万トン/年
6位	タイ	15～41万トン/年
7位	エジプト	15～39万トン/年
8位	マレーシア	14～37万トン/年
9位	ナイジェリア	13～34万トン/年
10位	バングラデッシュ	12～31万トン/年
	：	
20位	アメリカ	4～11万トン/年
	：	
30位	日本	2～6万トン/年
合計		478～1275万トン/年

<国別流出割合>



※割合は流出量(推計)の中央値で計算(2010年)

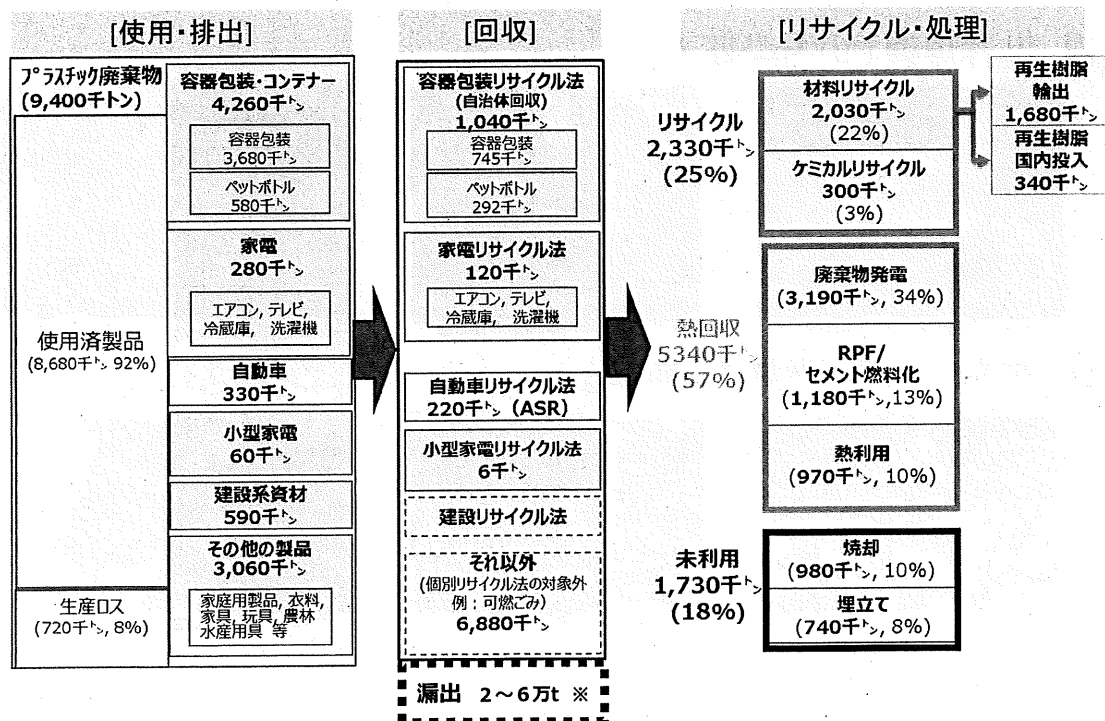
(出典) Jambeckら: Plastic waste inputs from land into the ocean, Science (2015)

※一研究者による人口、経済規模等のデータからの推計。温室効果ガスの場合とは異なり、国際合意のある統計は、現状では存在せず、科学的知見の収集が急務。

2

3. 我が国におけるプラスチックの資源循環

- プラスチック廃棄物 = 9.4百万トン/年 (全廃棄物(431百万トン)の2%)
- リサイクル率 = 24.8%, リサイクル+熱回収率 = 81.6% (2013年時点)



※ 出典 Jambeckら: Plastic waste inputs from land into the ocean, Science (2015)

3

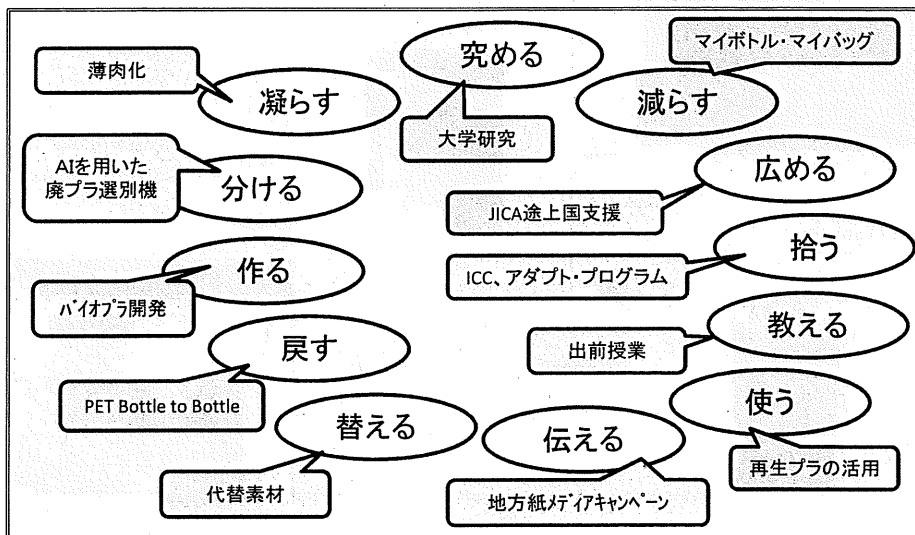
4. 参加頂きたい主体、取組の例

- 各省庁・業界団体・企業・自治体・NGOなどの幅広い主体から、海洋プラスチック問題の解決に貢献する以下のような“プラスチックとの賢い付き合い方”を募集します。

主体

- ・ 各省庁
- ・ 業界団体
- ・ 企業
- ・ 市区町村、都道府県
- ・ NGO、NPO
- ・ 個人、消費者 等

取組



4

5. 参加・発信方法（企業、自治体、NGOなど）

- キャンペーンサイトから取組をご登録頂ければ、様々な方法で国内外に発信します。

○ 「プラスチック・スマート」キャンペーンサイト 

（ で検索）にアクセスし、取組を登録して下さい

○ 共通ロゴマークをダウンロードして下さい



〇〇は、プラスチックの徹底分別に取り組んでいます。

→ ニュースリリース・商品カタログ・名刺などにロゴを付けてPR頂けます

【ご登録頂いた取組の発信】

- 環境省HPのトップページのほか、環境省公式twitter（約29万フォロワー）や報道発表等で取組を紹介
- 国内外のイベント、「プラスチック・スマートフォーラム」が開催する国際シンポジウム（2019年5～6月頃予定）等で取組を発信
- 英語で登録したものを、世界経済フォーラムの下での循環経済の官民連携プラットフォーム「PACE」などと連携して、**世界に発信**
- 2019年6月のG20エネルギー・環境関係閣僚会合の機会に、フォーラムで、**優れた取組について発表・表彰**

5

6. これまでの参加の状況（3/28時点）

- 環境省、経団連、セブン&アイ、日本マクドナルド、積水ハウス、イオン、三菱商事、兵庫県、沖縄県、北九州市、呉市など
309団体から446件

海岸アダプト清掃事業
県庁前地区公民館生協会

地域住民協同で、1年に1回、海岸への清掃活動を実施しています。この清掃活動により、地域住民の意識が高まり、今後は、海のごみを減らし、きれいな海を創出する人も増えて、私たちの生活環境も良くなっていくと期待しています。

楽しく学ぶ資源包装の3R ～自治体と連携した人材育成～
NPO法人環境と未来をつくる未来ネット

SDGsに資するプラスチック関連取組事例の公表
経済団体 日本経済団体連合会

日本の経済団体、全国プラスチック資源循環推進委員会（以下「推進委」）は、各都道府県・自治体等と連携し、アンケートを実施し、2018年11月、「SDGsに資するプラスチック関連取組事例」を公表しました。本取組は、2018年9月12日～10月12日の間に、全国の自治体・企業等から、計420件の事例が寄せられました。3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進、資源循環の促進、プラスチックの削減、分別、回収など、多岐にわたります。

また、推進委は、2018年11月30日時点で250事例を超える取組事例が寄せられました。

元気ネット
元気ネットは、新しく作られた3R推進のプラットフォームを開発し、3Rを推進する自治体・企業・市民・団体・自治体・企業と連携して活動しています。クーム・グーム・グーム、様々な3Rプログラムがあり、74の自治体・企業、市民・団体・自治体・企業と連携して活動しています。

ペットボトル自動回収機
株式会社フジ・デザイン・ホールディングス

フジ・デザイン・ホールディングスは、49の店舗にペットボトル自動回収機を設置しています（2018年2月現在、計701台）。回収したペットボトルは、国内で資源化され、資源はフジ・デザイン・ホールディングスの商品包装の原料にも活用されています。ご協力いただいた皆様は、環境に貢献していることを実感いただけるように、リサイクルポイントを提供しています。

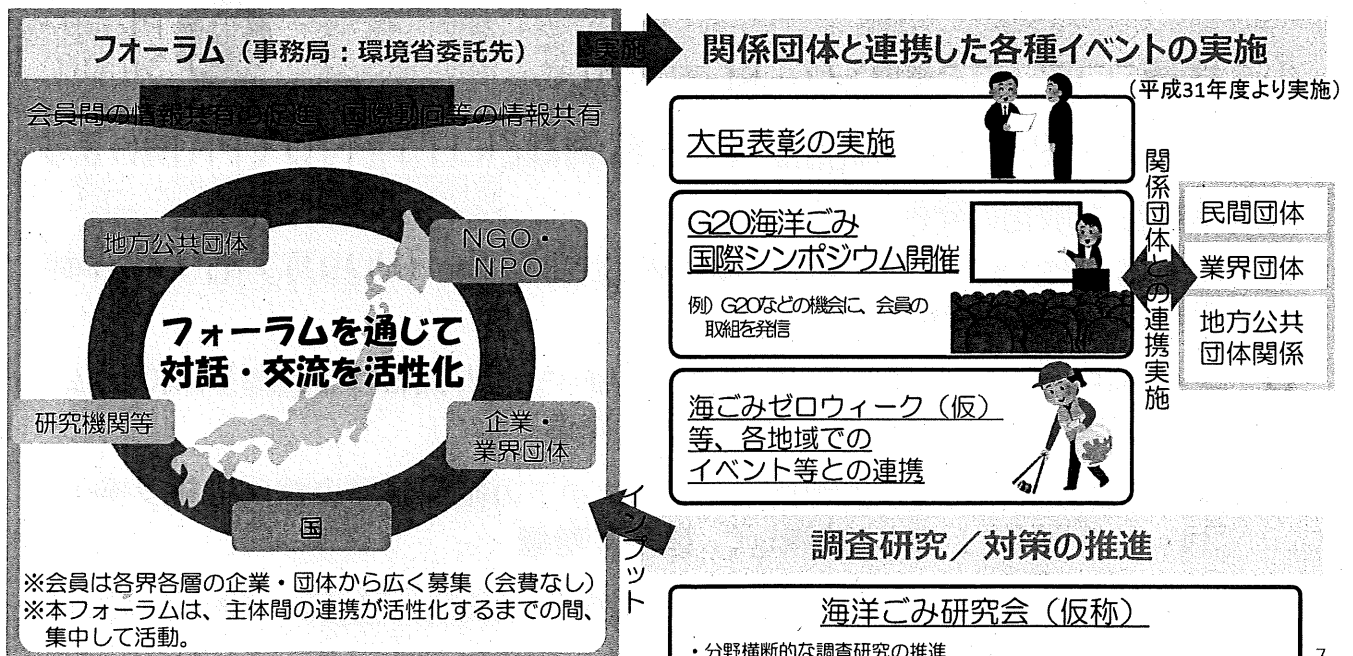
「ワズ・コンサプション」の最先端取組
環境省

1. 事業や会社など、環境省のあらゆる会議において、今後、ストロー、カップ、お箸、お箸など、ワンウェイのプラスチックを使用しません。
2. 本庁舎をはじめとする施設において、ワンウェイのプラスチック製品、容器を廃棄していません。
3. 事務室において、今後、庁内において、マイバグの活用により、レジ袋はもとより、ストロー、スプーン、フォークなどの必要なワンウェイのプラスチックの使用を自粛することを徹底します。これに合わせて、庁内のコンビニ、テナント等に協力をお願いし、使用済みのための回収などを徹底していただきます。
4. グリーン購入法等の仕組みを活用し、こうした「ワズ・コンサプション」の取組を各官庁に率先して促進し、広げていきます。

6

7. 「プラスチック・スマート」フォーラム

- 海洋プラスチックごみの削減に向け、“プラスチックとの賢い付き合い方”を全国的に推進する「プラスチック・スマート」キャンペーンを更に強化することを目的として、「プラスチック・スマート」キャンペーンの参加者を始めとする様々な団体の対話・交流の促進するものとして設置。
- フォーラムでは、関係団体とも連携し、大臣表彰の実施、シンポジウム開催、各地域でのイベント等の実施等の情報発信・普及啓発を行うほか、研究者による最新の知見を共有する。



7